



有限会社 山勝美濃陶苑

SDGs 取り組みについて

当社は、事業活動を通じて社会課題の解決に取り組み、SDGs 達成に貢献してまいります。

2022年1月13日

【取り組み内容】

働きやすい環境づくり

- すべての従業員が個性と能力を生かし、やりがいをもって働ける環境を目指します。



安心・安全な製品の提供

- 人と環境に配慮した製品づくりを心がけます。



自然環境への配慮

- 事業活動における廃棄物の削減と適正処理、リサイクルを徹底し、環境負荷低減に取り組みます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

山勝美濃陶苑は従業員一人ひとりが使命感を持ってSDGs 推進に取り組むことができる会社を目指します。

当社には様々な SDGs 推進の機会があることを認識し、人々の生活に欠かせない食器の販売を、さらなる環境や社会への配慮のもと取り組んでまいります。



SDGs 推進に向けた現在の取り組み

【SDGs 推進チームの設置】

各部署やグループ会社で SDGs 推進をしていけるよう、社内に SDGs 推進チームを設置いたしました。

【カーボンニュートラル】



CO2排出量について

当社の1年間の自社 CO2 排出量は、2019年7月期(2018年8月～2019年7月)は27.73トンでした。2020年と2021年はコロナ禍の影響で、現場作業、事務所、営業等、実質の活動が制限されており、会社としての活動を通常にしておりました期が2019年7月期であった為、その1年間の自社 CO2 排出量を基準に今後のカーボンニュートラルへの取り組みをすることにいたしました。

2023年7月期の CO2 排出量実績

2023年7月期(2022年8月～2023年7月)の自社 CO2 排出量は18.04トンでした。
(2019年7月期に比べ65%)

表：エネルギー別に分けた CO2 排出量実績
(2019年7月期の総排出量を100とした場合)

	2019年7月期	2023年7月期
灯油	9	2
LPG	7	7
電気	56	42
ガソリン	19	9
軽油	9	6
合計	100	65

CO2排出量削減に向けた取り組み

(1) CO2 排出量の定期的な確認

2022年7月期より、自社の CO2 排出量の定期的な確認をしております。

(2) 照明の LED 化

社内の47%の照明を LED に切り替えました。
電気の CO2 排出量については、2019年7月期から約25%削減いたしました。



(3) 省エネ型製品の採用

電化製品や営業車など、新たな購入や買い替え時には省エネ型製品を積極採用いたします。

【事務用品、梱包資材の見直し】

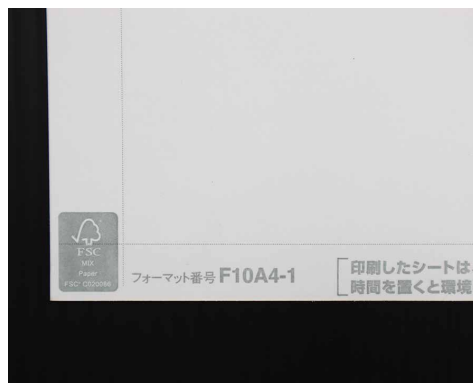


(1) FSC 認証を受けた紙製品利用の推進

コピー用紙、名刺、カタログを FSC 認証を受けた紙製品に切り替えました。
他の紙製品も可能な限り FSC 認証製品に切り替えていきます。



カタログ裏面



名刺

(2) 簡易包装の推進

商品の包装は出来るだけ簡易包装に努めます。



(3) 梱包資材の見直し

梱包資材（ガムテープ、エアパッキン、ミナフォーム）を環境対応型の製品に切り替えました。
他の梱包資材も可能な限り環境対応型製品に切り替えていきます。



CO2削減ガムテープ

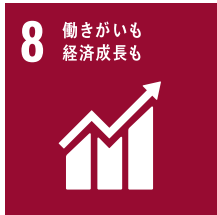


バイオマスエアパッキン



バイオマスミナフォーム

【デジタル化の推進】



デジタル化を推進し、業務の効率化やペーパーレス化、職場環境改善に努めます。

(1) 最新の商品管理システムの導入

データベースを一本化し手入力作業を削減しました。

(2) 事務作業電子効率化

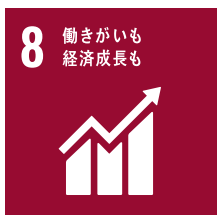
印刷・封入・発送作業の削減、紙封筒を削減しました。

【ゴミの分別】



各現場でゴミ出しのマニュアルを掲示し、ゴミの分別に努めています。

【働きやすい環境づくり】



作業環境の見直し

検品現場と梱包現場の計3ヶ所に、エアコンとビニールカーテンを設置しました。

夏場の作業への負担を軽減し、作業効率の向上を目指します。



エアコン（第1検品現場）



エアコン（第2検品現場）



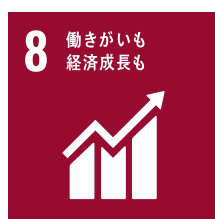
エアコン（梱包現場）

【コンプライアンス】



コンプライアンス規定の作成や職場相談窓口の設置を通じて、コンプライアンスの順守に勤めます。

【ワークライフバランスやダイバーシティの推進】



ワークバランスやダイバーシティの推進の為の現在の課題

- (1) 育児や介護と仕事の両立が図れるような環境づくりの為、育児・介護休業制度による支援や、現在支援が必要でない人達へも将来の支援に繋がるよう制度の周知にも努めます。
- (2) 残業時間を定期的に把握し、各部署での課題の解決も図り、残業の軽減に努めます。
- (3) 様々な職場で女性の活躍を推進します。
- (4) インフルエンザ予防接種や人間ドック受診の費用の一部を会社が負担する「健康管理の為の補助金制度」を設置しました。